

主要産地における令和5年産水稻の生育状況等について 第3報 (令和5年6月7日取り纏め)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (令和5年6月7日)

道府県	生育状況等		(参考)	
	区分	育苗・田植進行状況・生育状況等(自治体等公表資料の抜粋) 平年に対する遅速等		
北海道	(生育)	<p>【生育状況(6月1日現在)】</p> <p>(全道) 移植作業は平年並に終了した。移植後の活着は並。生育は平年並に進んでいる。(北海道農政部 6月6日付)</p> <p>(空知) 生育は平年並であり、移植作業も平年並に終了した。(空知総合振興局 6月6日付)</p> <p>(石狩) 生育は平年並。(石狩振興局 6月6日付)</p> <p>(後志) 遅速は早1日。(後志総合振興局 6月6日付)</p> <p>(日高) 移植作業は順調に進んだ。生育は平年並に推移している。(日高振興局 6月6日付)</p> <p>(胆振) 生育は平年並。(胆振総合振興局 6月6日付)</p> <p>(渡島) 生育は平年並に進んでいる。(渡島総合振興局 6月6日付)</p> <p>(檜山) 生育は概ね平年並で推移。移植作業は概ね平年並で推移。(檜山振興局 6月6日付)</p> <p>(上川) 移植作業は平年並に終わり、生育は平年並である。(上川総合振興局 6月6日付)</p> <p>(留萌) 生育は平年並に進んでいる。(留萌振興局 6月6日付)</p> <p>(オホーツク) 生育は平年並である。(オホーツク総合振興局 6月6日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月3日~7月2日】</p> <p>北海道地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁札幌管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月~8月】</p> <p>北海道地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁札幌管区気象台)</p>	<p>・「なつぼし」及び「ゆめぴりか」を中心とする品種構成となっており、主要品種に大きな変化はみられない。</p> <p>(農林水産省 令和5年3月15日)</p> <p>(出典資料は以下同じ)</p>
青森	(移植)	<p>・6月5日現在の田植進捗は、県全体で100%となった。</p> <p>・県全体の田植終わりは、平年並の5月29日であった。</p> <p>(青森県 6月6日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月3日~7月2日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月~8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「まっしぐら」及び「つがるロマン」を中心とする品種構成となっている。</p>
岩手	(移植)	<p>【5月18日現在】</p> <p>・5月18日現在の田植えの進捗率は県全体で60%。平年に比べやや遅いペースだが、概ね適期での移植が進んでいる。</p> <p>・地域別では、北上川下流71%、東部67%で盛期を過ぎ、今後終期を迎える見込み。また、北上川上流は42%でほぼ盛期に達しており、北部は16%で今後盛期を迎える見込み。</p> <p>・各地域とも、概ね適期内(5月25日まで)に終期(90%)を迎える見通し。</p> <p>(岩手県 5月19日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月3日~7月2日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月~8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「ひとめぼれ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。県のオリジナル品種である「釜河のしずく」が、耐冷性、耐病性に優れていることから増加傾向となっている。</p>
宮城	(生育)	<p>【6月1日現在】</p> <p>(大崎) 草丈は短めのほ場が多くなっている。葉数・茎数は上旬移植では平年を上回っているが、中下旬移植では平年を下回っている。5月は風が強い日が多く、田植え後に植え傷みが発生したほ場では、初期の生育が停滞したと推察される。現在は平年並に回復してきている。(大崎農業改良普及センター 6月2日付)</p> <p>(美里) 田植え後は強い日が多く、田植え盛期前後が低温で推移したことから、一部のほ場では葉枯れや活着不良が見られた。6月1日の生育調査結果では、茎数・葉数が平年・前年に比べ少なめのほ場が多いが、活着に時間を要したほ場も現在は、ほとんどのほ場で回復しているため、今後は分けつが進むと思われる。(宮城県美里農業改良普及センター 6月1日付)</p> <p>(栗原) 田植時は、前年と比べ田植日、1㎡当たり茎数が平年並となった。6月1日調査は、前年と比べ、草丈は短く、茎数は多く、葉数は多くなっている。(宮城県栗原農業改良普及センター 6月2日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月3日~7月2日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月~8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっている。</p>
秋田	(移植・生育)	<p>(北秋田) 5月30日現在の田植えの作業進捗状況は、98.0%(平年97.5%)となった。(6月2日付)</p> <p>(雄勝) 田植え作業は平年より1日早い5月30日に終期を迎えた。苗の活着はおおむね順調に進んでいる。(6月2日付)</p> <p>(仙北) 田植え作業は5月30日頃に終期(平年差-1日)。初期生育は概ね順調に推移している。(6月2日付)</p> <p>(山本) 田植え作業が平年並の5月27日に終期となった。田植えが早かったところでは、その後の気温が高く推移したことから、活着が順調。(6月2日付)</p> <p>(平鹿) 田植え作業の終期は平年並の5月30日となった。(6月2日付)</p> <p>(鹿角) 5月30日時点において、田植え作業はほぼ終了した。(6月2日付)</p> <p>(秋田県農林政策課)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月3日~7月2日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月~8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。</p>
山形	(生育)	<p>(鶴岡田川)</p> <p>・活着は概ね良好。一部圃場では移植後の植え傷みが見られたが、今はほぼ回復している。茎数は圃場間差が見られる。</p> <p>・まもなく6葉期となり、本格的な分けつ期に移る。</p> <p>(庄内総合支庁農業技術普及課 6月2日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月3日~7月2日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月~8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「はえぬき」及び「つや姫」を中心とする品種構成となっている。新品種「雪若丸」は増加傾向にある。</p>
福島	(育苗)	<p>【5月9日現在】</p> <p>・移植栽培の播種作業は、始期(5%終了)が4月7日(平年差-2日)、盛期(50%終了)が4月16日(平年差±0日)、終期(95%終了)が4月24日(平年差-1日)となった。苗の生育は概ね順調。</p> <p>(福島県農林水産部農業振興課)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月3日~7月2日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月~8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっている。近年、収量水準の高い「天のつふ」が増加しており、飼料米への転換が増加していることから比率はやや低下したものの、まだ増加が見込まれる。</p>
茨城	(生育)	<p>【5月31日現在、水戸市】</p> <p>(5月1日移植) 主稈葉数の展開からみた生育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(生育)「あきたこまち」及び「ふくまるSL」で平年より1日早く、「コシヒカリ」で平年並。 ・(茎丈)「あきたこまち」で平年並、「ふくまるSL」「コシヒカリ」で平年よりやや低い。 ・(葉数)「あきたこまち」「ふくまるSL」で平年よりやや少なく、「コシヒカリ」で少ない。 ・(葉色)平年並。 <p>(5月8日移植)「コシヒカリ」主稈葉数の展開からみた生育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平年より1日早い。草丈やや低く、葉数は平年並である。(茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室 6月5日付) <p>【6月5日現在、龍ヶ崎市】</p> <p>(4月27日移植) 主稈葉数の展開からみた生育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あきたこまち」で平年より2日遅く、「ふくまるSL」で1日遅く、「コシヒカリ」で4日遅い。 ・「あきたこまち」は、草丈が平年並、葉数が極少なく、葉色が濃い。 ・「ふくまるSL」は、草丈が平年並、葉数がやや少なく、葉色が濃い。 ・「コシヒカリ」は、草丈がやや高く、葉数が少なく、葉色が濃い。 <p>(5月8日移植)「コシヒカリ」主稈葉数の展開からみた生育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平年より4日遅い。草丈が低く、葉数が極少なく、葉色が平年並である。(茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 6月6日付) 	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月3日~7月2日】</p> <p>関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月~8月】</p> <p>関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は平年並が高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成で、近年、多種多様な収米への作付け移行が進んでいる。</p>

<p>栃 木</p>	<p>【5月29日現在】（本田調査）</p> <p>「コンヒカリ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草丈は前年並みで、莖数は西那須野、鹿沼、農試で多く、それ以外の地区はやや少なくなった（農試は前年より移植時期が4日早いめ多く増えている）。葉齢は全県平均で0.2葉進んでいる。 <p>（生育）</p> <p>「とちぎの星」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草丈は全体的に、前年よりも短く平均21.4cm（前年比91%）、莖数は農試が139%と多くなったが、それ以外の地区平均は前年比81%と少なくなっている。葉色は、ほぼ前年並みとなっている。 <p>（栃木県農政部長官事務課 5月29日付）</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月3日～7月2日】</p> <p>関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ前年並の見込み。降水量と日照時間は、ほぼ前年並の見込み。（気象庁東京管区気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は前年並か高い見込み。降水量は、ほぼ前年並の見込み。（気象庁東京管区気象台）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コンヒカリ」を中心とする品種構成となっている。なお、オリジナル品種「とちぎの星」が増加傾向にある。
<p>千 葉</p>	<p>【6月1日現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月下旬は低温で日照時間も少なかったため、生育の遅延（葉令の進み）は前年並だが、莖数はやや少なめで、早生品種の草丈はやや短くなっている。葉色は前年並に推移している。 ・例年より、遅延障害の発生しているほ場が多く見られる。全体的な莖数確保は遅れているが、植え付けが早く初期生育が順調だったほ場では、中干しを始める時期に入っている。 <p>（生育）</p> <p><葉齢の進み（前年比）></p> <p>「ふさおとめ（4月20日種）」やや遅、「ふさこがね（4月20日種）」並、「コンヒカリ（4月20日種）」並、「コンヒカリ（5月1日種）」並、「粒すけ（4月20日種）」並。</p> <p>（千葉県 6月5日付）</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月3日～7月2日】</p> <p>関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ前年並の見込み。降水量と日照時間は、ほぼ前年並の見込み。（気象庁東京管区気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は前年並か高い見込み。降水量は、ほぼ前年並の見込み。（気象庁東京管区気象台）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コンヒカリ」及び「ふさこがね」及び「ふさおとめ」を中心とする品種構成となっている。令和2年産から新品種「粒すけ」の本格栽培が開始
<p>新 潟</p>	<p>【5月30日現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「コンヒカリ」では指標値に比べ、草丈はやや長い、莖数は並、葉齢の進みはやや早い状況。 ・「新之助」では指標値に比べ、草丈は短い、莖数は並、葉齢の進みはやや遅い状況。 ・「こしいぶき」では指標値に比べ、草丈はやや短い、莖数はやや少ない、葉齢の進みは並の状況。 <p>（新潟県 5月31日付）</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月3日～7月2日】</p> <p>北陸地方の向こう1か月の平均気温は前年並か高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ前年並の見込み。（気象庁新潟地方気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>北陸地方の向こう3か月の平均気温は前年並か高い見込み。降水量は、ほぼ前年並の見込み。（気象庁新潟地方気象台）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コンヒカリ」及び「こしいぶき」を中心とする品種構成で、近年「コンヒカリ」が減少し、収量水準の高い「ゆきん子舞」「つきあかり」及び「みずほの輝き」が増加傾向にある。また、県では新品種「新之助」（晩生種）の作付拡大を推奨している。
<p>富 山</p>	<p>【5月30日現在】本田での生育状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「てんたかく」前年に比べ、草丈、莖数は並、葉齢は0.2葉遅れている。 ・「コンヒカリ」前年に比べ、草丈、葉齢は並、莖数はやや多くなっている。 ・「てんこもり」前年に比べ、草丈は並、莖数は少なく、葉齢は0.4葉遅れている。 ・「富富富」近年に比べ、草丈、莖数は並、葉齢は0.3葉遅れている。 <p>（富山県 5月30日付）</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月3日～7月2日】</p> <p>北陸地方の向こう1か月の平均気温は前年並か高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ前年並の見込み。（気象庁新潟地方気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>北陸地方の向こう3か月の平均気温は前年並か高い見込み。降水量は、ほぼ前年並の見込み。（気象庁新潟地方気象台）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コンヒカリ」を中心とする品種構成となっているものの、近年高温多湿による品質が安定している「てんたかく」及び「てんこもり」県のトップブランドに位置づけている「富富富」が増加傾向にある。
<p>石 川</p>	<p>【5月29日現在】</p> <p>（草丈）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「コンヒカリ」は前年比66～128%（県平均104%：加賀：101%、能登：108%）と前年並み～やや長く、前年並み。 ・「ゆめみづほ」は、前年比82～112%（県平均：101%、加賀：101%、能登：100%）と前年及び前年並み。 ・「ひやくまん殺」は、近年比86～132%（県平均：107%、加賀：110%、能登103%）と近年と比べやや長く、前年と比べ長い。 <p>（莖数）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほ場間による差が大きい傾向。 ・「コンヒカリ」は前年比73～210%（県平均124%、加賀：136%、能登104%）と前年並み～多く、前年と比べ多い。 ・「ゆめみづほ」は、前年比67～205%（県平均：117%、加賀：114%、能登：121%）と前年と比べやや多く、前年と比べ多い。 ・「ひやくまん殺」は、近年比82～177%（県平均：129%、加賀：137%、能登：117%）と近年と比べやや多い～多く、前年と比べ多い。 ・田干しを実施していないほ場で藻や表層剥離の発生やガスによる下葉の黄化が見られるとともに、浅水管理を行っていないほ場で分けつの発生が遅れている。 <p>（石川県農林総合研究センター農業試験場 5月30日付）</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月3日～7月2日】</p> <p>北陸地方の向こう1か月の平均気温は前年並か高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ前年並の見込み。（気象庁新潟地方気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>北陸地方の向こう3か月の平均気温は前年並か高い見込み。降水量は、ほぼ前年並の見込み。（気象庁新潟地方気象台）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コンヒカリ」及び「ゆめみづほ」を中心とする品種構成であるが、近年、県オリジナル新品種の「ひやくまん殺」が増加傾向にある。
<p>福 井</p>	<p>【5月31日調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早生品種や5月上旬移植の品種は、葉色が濃くなり、生育が進んできた。 ・莖数がやや少なくな推移しているが、全体としては前年並の生育。 <p>（水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 6月2日付）</p> <p>（生育）</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月3日～7月2日】</p> <p>北陸地方の向こう1か月の平均気温は前年並か高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ前年並の見込み。（気象庁新潟地方気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>北陸地方の向こう3か月の平均気温は前年並か高い見込み。降水量は、ほぼ前年並の見込み。（気象庁新潟地方気象台）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コンヒカリ」及び「ハナエチゼン」を中心とする品種構成である。なお、新品種である「いちほまれ」が増加傾向にある。
<p>長 野</p>		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月3日～7月2日】</p> <p>関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ前年並の見込み。降水量と日照時間は、ほぼ前年並の見込み。（気象庁東京管区気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は前年並か高い見込み。降水量は、ほぼ前年並の見込み。（気象庁東京管区気象台）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コンヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成に大きな変化はない。県のオリジナル品種「風さやか」の導入を推進している。（気象庁東京管区気象台）
<p>滋 賀</p>		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月3日～7月2日】</p> <p>近畿地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ前年並の見込み。降水量と日照時間は、ほぼ前年並の見込み。（気象庁大阪管区気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>近畿地方の向こう3か月の平均気温は前年並か高い見込み。降水量は、ほぼ前年並の見込み。（気象庁大阪管区気象台）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コンヒカリ」、「キヌヒカリ」、「みずかがみ」及び「日本晴」を中心とする品種構成である。近年、高温多湿性に優れた「みずかがみ」の作付が推進されている。

兵 庫	<p>【5月29日時点】</p> <p>(県 北) 移植後、気温の高低差が大きいため、木田での生育は順調である。</p> <p>(県 南) 現在、苗の生育は順調である。</p> <p>(育苗・生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月3日～7月2日】</p> <p>近畿地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>近畿地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁大阪管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コシヒカリ」「ヒノヒカリ」「キヌヒカリ」及び「山田錦」を中心とする品種構成である。 ・「きぬむすめ」の作付拡大を推進している。
岡 山	<p>・中北部地帯の田植え時期、生育概況は概ね平年並である。</p> <p>(岡山県 5月30日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月3日～7月2日】</p> <p>中国地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>中国地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁広島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「アケボノ」、「きぬむすめ」、「コシヒカリ」「あきたこまち」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。 ・近年、「きぬむすめ」が増加傾向となっている。
広 島		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月3日～7月2日】</p> <p>中国地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>中国地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁広島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コシヒカリ」、「あきさかり」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。
愛 媛		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月3日～7月2日】</p> <p>四国地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>四国地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁高松地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ヒノヒカリ」「コシヒカリ」「あきたこまち」及び「にこまる」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「ヒノヒカリ」から「にこまる」への品種変更が定着してきている。
高 知	<p>【5月月報】</p> <p>(早期稲) 分けつ期 時期：並</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜温がやや低めで経過した時期があったことから、分けつ数はやや少ないが、概ね順調に経過している。 <p>(普通期稲) 育苗期～活着期 時期：並</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移植は5月10日頃から始まり、最盛期は5月下旬でほぼ平年並になる見込みである。 ・一部で育苗期間中に苗いもちの発生が報告されている。移植後の生育は概ね順調である。 <p>(高知県病害虫防除所 6月5日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月3日～7月2日】</p> <p>四国地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>四国地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁高松地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・早期栽培は「コシヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。
福 岡	<p>【5月16日現在】</p> <p>(生育)</p> <p>【早期水稲】(夢つくし、コシヒカリ)◇</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早期水稲の田植えは平年並で、5月15日までに終了した(最盛期は4月下旬)。 ・平年並～やや高い気温で経過しており、活着は概ね順調。 <p>【普通期水稲】(夢つくし、元気つくし、ヒノヒカリなど)◇</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、6月上旬植え用の播種及び育苗作業が行われている。 ・田植えは、「夢つくし」で6月中旬、「元気つくし」で6月中旬、「ヒノヒカリ」で6月下旬を中心に行われる見込み。 <p>(福岡県農林業総合試験場 5月19日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月3日～7月2日】</p> <p>九州北部地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>九州北部地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁福岡管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ヒノヒカリ」「夢つくし」及び「元気つくし」を中心とする品種構成であるが、「元気つくし」が増加傾向となっている。県では「実りつくし」の拡大を推奨している。
熊 本		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月3日～7月2日】</p> <p>九州北部地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>九州北部地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁福岡管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ヒノヒカリ」「森のくまさん」及び「コシヒカリ」を中心とする品種構成である。 ・「くまさんの隣き」はリーディング品種として取扱いが年々拡大している。
宮 崎	<p>【作物の生育状況 (5月中旬)】</p> <p>(生育)</p> <p>早期水稲は分けつ期。(宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 5月24日)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月3日～7月2日】</p> <p>九州南部地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>九州南部地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コシヒカリ」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「み系358」への作付誘導が進められている。
鹿 児 島		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月3日～7月2日】</p> <p>九州南部地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>九州南部地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・早期栽培は「コシヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。早期栽培では、収量水準の高い「なつほのか」への移行が急速に進んでいる。

注1：国及び地方自治体、出先機関等がホームページで公表している資料を米穀機構情報部で取り纏め。
注2：令和5年6月7日 14時時点での取り纏め。
注3：更新箇所は赤字で示した。

引用資料:

農作物の生育状況 6月1日現在(北海道農政部 6月6日)、
農作物生育状況 6月1日現在(北海道空知総合振興局 6月6日)、
農作物生育状況 6月1日現在(北海道石狩振興局 6月7日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道後志総合振興局 6月6日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道胆振総合振興局 6月6日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道日高振興局 6月6日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道渡島総合振興局 6月6日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道檜山振興局 6月6日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道上川総合振興局 6月6日)、
農作物生育状況調査の概要 6月1日現在(北海道留萌振興局 6月6日)、
農作物の生育と農作業の進捗状況 6月1日現在(北海道オホーツク総合振興局 6月6日)、
6月5日現在田植進捗状況(青森県「攻めの農林水産業」推進本部 6月6日)、
田植の進捗状況(5月18日現在概況速報)について(岩手県農業普及技術課農業革新支援担当 5月19日)、
令和5年度大崎稲作情報第2号(宮城県大崎農業改良普及センター 6月2日)、
令和5年度美里地区の稲作情報第2号(宮城県美里農業改良普及センター 6月1日)、
栗原の稲作通信令和5年第2号(宮城県栗原農業改良普及センター 6月2日)、
生育状況報告(秋田県ホームページ「こまちチャンネル」<http://www.e-komachi.jp/> 6月7日閲覧)、
おいしい米づくり情報第6号(山形県庄内総合支庁農業技術普及課 6月2日)、
主要な農作物の生育情報令和5年度第2号(福島県農林水産部農業振興課)、
農研速報(茨城県農業総合センター 農業研究所作物研究室 6月3日)、
農研速報(茨城県農業総合センター 農業研究所水田利用研究室 6月6日)、
水稲生育診断速報No.1(栃木県農政部経営技術課 5月29日)、
水稲の生育と当面の対策第2報(千葉県農林水産部 6月5日)、
水稲の生育と今後の管理対策(第3号)(新潟県 5月31日)、
TACS情報第1号(富山県 5月30日)、
水稲TACS情報(第1号)(富山県 5月25日)、
令和5年度水稲の生育状況と今後の対策(水稲生育診断技術確立調査-2号)(石川県農林総合研究センター 5月30日)、
稲作情報No.5(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 6月2日)、
令和5年度兵庫県農業気象技術情報No.2(6月情報)(兵庫県農林水産部 6月5日)、
令和5年度病害虫発生予報第3号(岡山県 5月30日)、
病害虫発生予報情報について 令和5年度病害虫発生予察5月月報(高知県病害虫防除所 6月5日)、
福岡県の主な農作物の生産状況(福岡県農林業総合試験場 5月19日)、
令和5年度病害虫発生予報第2号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 5月24日)、

北海道地方方向こう1か月の天候の見通し(6月1日札幌管区気象台)、東北地方方向こう1か月の天候の見通し(6月1日仙台管区気象台)、関東甲信地方方向こう1か月の天候の見通し(6月1日気象庁)、
北陸地方方向こう1か月の天候の見通し(6月1日新潟地方気象台)、近畿地方方向こう1か月の天候の見通し(6月1日大阪管区気象台)、中国地方方向こう1か月の天候の見通し(6月1日広島地方気象台)、
四国地方方向こう1か月の天候の見通し(6月1日高松地方気象台)、九州北部地方方向こう1か月の天候の見通し(6月1日福岡管区気象台)、
九州南部・奄美地方方向こう1か月の天候の見通し(6月1日鹿児島地方気象台)、

北海道地方方向こう3か月の天候の見通し(5月23日札幌管区気象台)、東北地方方向こう3か月の天候の見通し(5月23日仙台管区気象台)、関東甲信地方方向こう3か月の天候の見通し(5月23日気象庁)
北陸地方方向こう3か月の天候の見通し(5月23日新潟地方気象台)、近畿地方方向こう3か月の天候の見通し(5月23日大阪管区気象台)、中国地方方向こう3か月の天候の見通し(5月23日広島地方気象台)、
四国地方方向こう3か月の天候の見通し(5月23日高松地方気象台)、九州北部地方方向こう3か月の天候の見通し(5月23日福岡管区気象台)、
九州南部・奄美地方方向こう3か月の天候の見通し(5月23日鹿児島地方気象台)、

令和5年度水稲の10a当たり平年収量に係る生産事情(都道府県別)(農林水産省 3月15日)